

특강  
일본전통문화론

담당교수 나행주

# 강의진행 방식-온라인+(다시보기 제공)

- 강의
- -3월 3회(3/4 水, 3/24 火, 3/31 火)
- -4~5월(월 2회 정도 예정 화요일) \*4/14, 4/28 \*5/12, 5/26
- 자료-pdf 자료 및 ppt자료 제공
- (중간)과제물 및 기말시험 관련 특강

# 강의목표 및 내용

- 일본전통문화의 내용과 특징을 파악
- 동양문화 속의 한일문화의 공통점과 차이점 이해
- 일본문화의 특징을 규정짓는 주요 요인에 대한 이해
  - 일본전통문화의 기원/유래
- 한국인으로서의 일본문화 이해
  - 지적 호기심 타산지석/반면교사 벤치마킹의 대상
  - 이웃나라에 대한 바른 이해(동아시아공동체의 일원으로서)

# 일본사 및 일본문화 이해의 필요성

- 지적 호기심-이문화, 이국에 대한 흥미와 관심
- 한국역사와의 밀접한 관련성
- 역사=시간+공간
- 시간과 공간의 공유 특히 고대와 근대의 장기간
- 현실적 필요 지정학적 관계 정치군사 경제문화적 관련성
- 벤치마킹의 대상 선발과 후발 선진과 후진
- 교사(지금까지)와 반면교사(앞으로)
- 동아시아 공동체의 일원, 상대에 대한 바른 이해 상호/호혜협력

# 수업자료    전통문화의 종류 및 유래

- 수업자료 pdf 및 ppt 자료
- 시키타리 pdf
- 지도(고지도 이해 필요), 연호표 등
  
- 전통문화 및 유래    전근대/근대    전통문화/대중문화    생산/향유  
주체    각 시대의 주인공    천황/귀족    무사(사무라이)    상인(초닌)
- 내용-다도/화도(이케바나)    일본화/우키요에/야키모노/정원
- -연중행사/마쓰리/스모
- -4대 예능(能/狂言/文樂[人形淨瑠璃]/歌舞伎)

# 일본사/일본문화 이해를 위한 전제

## -키워드 10

- 인간은 주변 환경의 영향(정도의 차이). 사회도 국가도 마찬가지
- 환경 -가) 자연지리적 환경(자연환경)
  - 나) 역사적 환경
  - 다) 사회문화적 환경
- 환경의 영향을 가장 많이 받은 나라는? 아마도 **일본**
- 일본사의 환경
- 가) **열도(섬나라)** 산지 지형 기후 **자연재해**(지진/화산/태풍/쓰나미)
- 나) 천황 **무사**(사무라이 侍) **상인**(초닌 町人)
- 다) **불교[\*禪宗]**/신도(종교) 외척(모계)

# \* 시키타리 오카와리 리필문화 불교

## 인연(因緣) 연기(緣起) 일기일회(一期一會)

一口残らず食べては縁もそれきり

よその家に食事招かれて、おかわりをすすめられた場合は、「あまり食べ過ぎるとはしたなく思われるなど遠慮したりせず、素直にいたくのが礼儀にかんじた作法といえる。

一膳だけでご飯を終えるのは、葬儀の際に死者の枕元に盛る山盛りの飯を想像させ、縁起が悪いとされているからである。

またおかわり際には、茶碗の底に一口ぶんご飯を残して差し出すようにする。「食べかけのご飯を相手に見せたりしていいのだろうか」と思つかもしれないが、この場合は失礼にならない。

一粒残らず食べて茶碗のなかに何もなくなると、もういらぬという意味になってしまうのである。

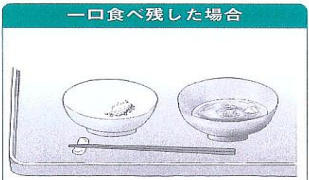
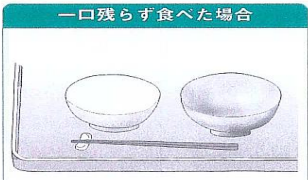
一口残すことは、もっと食べたというだけではなく、その家の主とこれからも縁を保ちたいという意思表示になる。もてなしに感謝し、人間関係をさらに深めたいという積極的な気持ちであらわしているのである。

かつて日本には、誰かの家を訪問した際、「また参ります」という意味で、手ぬぐいや扇などのちよつとした小物をわざと置いて帰る風習があった。

また、お見合いで女性の家を訪問した男性が扇を置いて帰ると、「この縁談を進めたい」という意味になった。

これらはいずれも、何かを残して縁をつなぐという作法である。何もなくなると、縁もそれきり切れてしまう。茶碗の底の一口のご飯にも、日本人は深い意味をもたせてきたのである。

茶碗に残ったご飯の意味

一口食べ残した場合	一口残らず食べた場合
	
<p>茶碗に食べかけのものがある</p> <p>↓</p> <p>その家の主との縁がつながっている</p>	<p>茶碗に何も残っていない</p> <p>↓</p> <p>その家の主との縁が切れる</p>

日常のしぎたり  
**おかわり**  
 一口ぶん茶碗に残しても失礼にあたらぬという不思議

# 엔기(緣起) 이이/와루이 엔기모노(緣起物) 엔기가쓰기(緣起担ぎ)

第1章 日常のしきたり

(문근 카인드!)  
※ 이이/와루이

一口残らず食べては  
勝つそれだけ

まさの家に食事招かれて、お  
かわりをすめられた場合は、  
「あまり食べ過ぎるとはしたなく  
思われる」と思慮したりせず、  
素直に「たべかたはいいかなら  
う」と返す。

「原宿で二階を築くのは、  
尊儀の隣に死者の性灵に勝て山盛  
りの飯を思惟させ、縁起が悪いと  
されているからである。  
またおかわりの際には、茶碗の  
底に「日本」二飯を残して差し出  
すようにする。食べかけの二飯  
を相手は受けたりしないのだろ  
うか」と返すかも知れないが、こ  
の場合は大凡にならぬ。  
「殺戮らず食べて茶碗のなかに  
何もなくなると、もういらぬと  
いう意味になってしまうのである。」

日常の  
しきたり


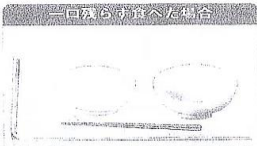
おかわり

오카와리

「口残すこと」は「もつと食べた  
い」というだけではなく、その家の  
主とこれからも縁を保ちたいと  
いう意思表示になる。もてなしに  
感謝し、人間関係をさらに深めた  
いという積極的な気持ちをあらわ  
しているのである。  
かつて日本には「誰かの家を訪  
問した際、「また参ります」とい  
う意味で、手ぬぐいや扇などのち  
よつとした小物をわざと置いて帰  
る風習があった。  
また、お見合いで女性の家を訪  
問した男性が扇を置いて帰ると、  
「この縁談を進めたい」という意  
味になった。  
これらはいずれも、何かを残し  
て縁をつなぐという作法である。  
何もなくなると「縁もせきり  
切れてしまう。茶碗の底の「日」  
二飯にも、日本人は深い意味をも  
たせてきたのである。」

※ 이이

茶碗に残ったご飯の意味

<p>一口食べ残した場合</p>  <p>茶碗に食べかけのものがある</p> <p>↓</p> <p>その家の主との縁がつながっている</p>	<p>一口残らず食べた場合</p>  <p>茶碗に何も残っていない</p> <p>↓</p> <p>その家の主との縁が切れる</p>
---	--

一口ぶん茶碗に残しても  
失礼にあたらぬという不思議

へては  
招かれて、お  
れた場合は、  
とはしたなく  
したりせず、  
礼儀にかなっ  
かえるのは、  
に盛る山籠  
起が悪いと  
、茶碗の  
て差し出  
けのご飯  
いのなら  
いが、こ  
なかに  
ない  
である。

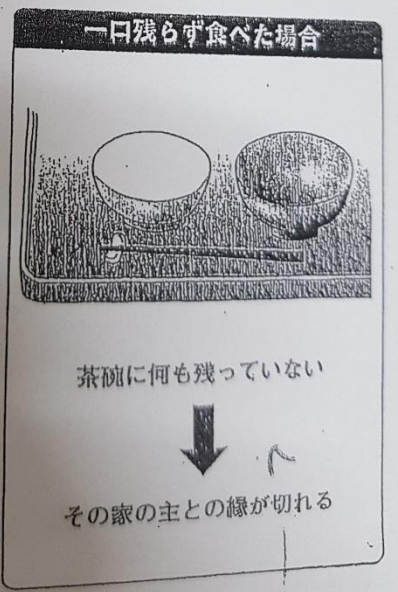
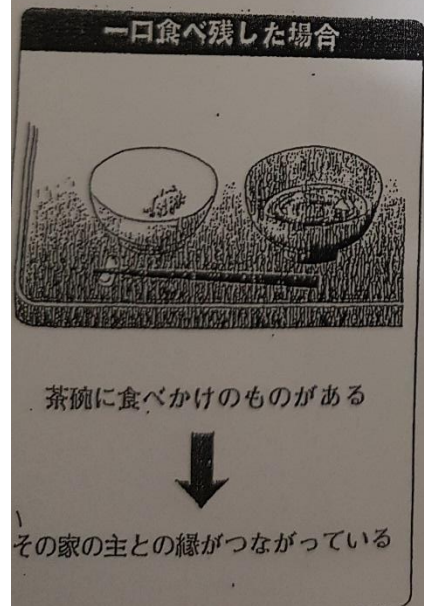
一口残すことは、もつと食べた  
いというだけではなく、その家の  
主とこれからも縁を保ちたいと  
いう意思表示になる。もてなしに  
感謝し、人間関係をさらに深めた  
いという積極的な気持ちであらわ  
しているのである。

かつて日本には、誰かの家を助  
問した際、「また参ります」とい  
う意味で、手ぬぐいや扇などのち  
よつとした小物をわざと置いて帰  
る風習があった。

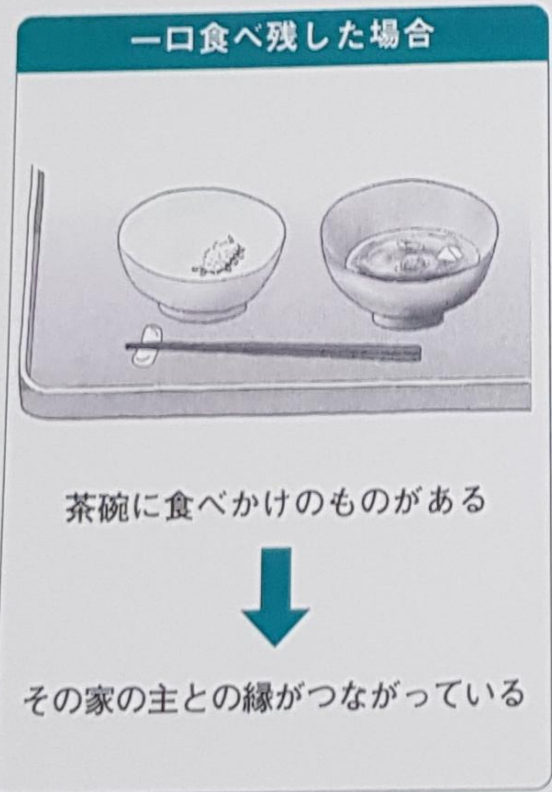
また、お見合いで女性の家を訪  
問した男性が扇を置いて帰ると、  
「この縁談を進めたい」という意  
味になった。

これらはいずれも、何かを残し  
て縁をつなぐという作法である。  
何もなくなると、縁もそれきり  
切れてしまう。茶碗の底の一口の  
ご飯にも、日本人は深い意味をも  
たせてきたのである。

茶碗に残ったご飯の意味



茶碗に残ったご飯の意味



# 젓가락문화-유래

## 불저(佛箸)

## 합저(合箸)

## 자저(刺箸)

**死者を思わせる作法は絶対にしてはいけない**

中国で生まれた箸の歴史は、西洋のナイフやフォークより古い。日本では、『古事記』のなかに箸が登場する。サノオノミコトが、川上から流れてくる箸を見て人が住んでいることを知り、ヤマタノオロチを退治するきっかけになったと記されているのだ。

当時の箸はビンセット状になっていたというので、上部を切り離した二本使いの形に変わったのは、後の時代のことのようにだ。







この「対の箸をじょうずに使いこなす」とする過程で、いくつもの作法が生まれた。どの作法にも見た目が美しくない、他人に不快感を与えないといったことを避ける目的があり、礼儀作法の基本にかなった合理的な理由をもつ。

箸をなめる「ねぶり箸」や、何を取ろうか卓上で箸を泳がせる「迷い箸」、遠くの器に手を伸ばし食材を突き刺して取る「及び箸」、その器を箸で近くに引き寄せる「寄せ箸」などは、ふだん目にすることも多いだろう。

また箸を二本まとめて握る「握り箸」は、幼児のように見えるだけでなく、握った箸の頭に親指をあてると武器にもなるから、同席者を不安にするとして禁じられた。そして最大のタブーとされているのは、盛ったご飯に箸を突き立てる「仏箸」。死者の枕元にする「枕めし」と同じ形になるからだ。もう一つ、箸から箸へ食べ物を受け渡す「渡し箸」という方法も厳しく禁じられている。火葬後の骨揚げのときには、二人一組になって骨を箸でつまみ、骨壺に移すからである。

**行儀の悪い箸使い**

仏箸と合わせ箸は、死者を連想させるため、とくに行儀が悪いとされている

<p>刺し箸</p>  <p>食べ物に箸を突き刺して食べる</p>	<p>仏箸</p>  <p>ご飯茶碗に箸を突き立てる</p>	<p>合わせ箸</p>  <p>箸から箸へと食べ物を受け渡す</p>
<p>もぎ箸</p>  <p>箸についた米粒を口で取る</p>	<p>ねぶり箸</p>  <p>箸の先をなめる</p>	<p>寄せ箸</p>  <p>箸を使って器を自分のほうへ寄せる</p>

日常のしきたり

# 箸

知っているようで知らない  
箸使いマナーのルール

# 箸 (箸) 竹 (竹) + 者 (者)

부고

# ++ 草 + 者

日常のしきたり

## 箸 (箸)

箸 (箸) 100년

의미

死者を悪わせる作法は絶対にしてはいけない

中国で生まれた箸の歴史は、西洋のナイフやフォークより古い。日本では、『古事記』のなかに箸が登場する。スサノオノミコトが、用土から流れてくる箸を見て人が住んでいることを知り、ヤマタノオロチを退治するきっかけになったと記されているのだ。

当時の箸はピンセット状になっていたようで、上部を切り離した二本使用の形に変わったのは、後の時代のことのようにだ。

この、対の箸をじょうずに使うこなせうとする過程で、いくつもの作法が生まれた。どの作法にも見た目が美しくない、他人に不快感を与えるといったことを避ける目的があり、礼儀作法の基本になった合理的な理由をもつ。

箸をなめる「ねぶり箸」や、何を取ろうか卓上で箸を泳がせる「迷い箸」、遠くの器に手を伸ばし食財を突き刺して取る「及び箸」、その器を箸で近くに引き寄せ「寄せ箸」などは、ふだん目にすることも多いだろう。

また箸を二本まとめて握る「握り箸」は、幼児のように見えるだけでなく、握った箸の頭に親指をあてると武器にもなるから、同席者を不安にするとして禁じられた。そして最大のタブーとされているのは、盛ったご飯に箸を突き立てる「仏箸」。死者の枕元に供える「枕めし」と同じ形になるからだ。もう一つ、箸から箸へ食べ物を受け渡す「渡し箸」という方法も厳しく禁じられている。火葬後の骨揚げのときには、二人一組になつて骨を箸でつまみ、骨壺に移す。

여기 (여기)

仏箸と合わせ箸は、死者を連想させるため、とくに行儀が悪いとされている

### 行儀の悪い箸使い

<p>刺し箸</p> <p>자저</p> <p>食べ物に箸を突き刺して食べる</p>	<p>仏箸</p> <p>부(부저)</p> <p>ご飯茶碗に箸を突き立てる</p>	<p>合わせ箸</p> <p>부저</p> <p>箸から箸へと食べ物を受け渡す</p>
<p>もぎ箸</p> <p>箸についた米粒を口で取る</p>	<p>ねぶり箸</p> <p>箸の先をなめる</p>	<p>寄せ箸</p> <p>箸を使って器を自分のほうへ寄せる</p>

知つているようで知らない箸使いマナーのルール

## 行儀の悪い箸使い

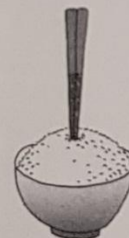
仏箸と合わせ箸は、死者を連想させるため、とくに行儀が悪いとされている

### 刺し箸



食べ物に箸を突き刺して食べる

### 仏箸



ご飯茶碗に箸を突き立てる

### 合わせ箸



箸から箸へと食べ物を受け渡す

### もぎ箸



箸についた米粒を口で取る

### ねぶり箸



箸の先をなめる

### 寄せ箸



箸を使って器を自分のほうへ寄せる

## 行儀の悪い箸使い

仏箸と合わせ箸は、死者を連想させるため、とくに行儀が悪いとされている

### 刺し箸



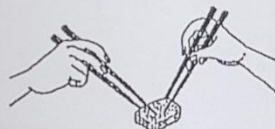
食べ物に箸を突き刺して食べる

### 仏箸



ご飯茶碗に箸を突き立てる

### 合わせ箸



箸から箸へと食べ物を受け渡す

### もぎ箸



箸についた米粒を口で取る

### ねぶり箸



箸の先をなめる

### 寄せ箸



箸を使って器を自分のほうへ寄せる

箸をなめる「ねぶり箸」や、何を取ろうか卓上で箸を泳がせる

「迷い箸」、速くの器に手を伸ばし「食材を突き刺して取る」「及び箸」、その器を箸で近くに引き寄せ「寄せ箸」などは、ふだん目にすることも多いだろう。

また箸を二本まとめて握る「握り箸」は、幼児のように見えるだけでなく、握った箸の頭に親指をあてると武器にもなるから、同席者を不安にするとして禁じられた。

そして最大のタブーとされているのは、盛ったご飯に箸を突き立てる「仏箸」。死者の枕元に供える「枕めし」と同じ形になるからだ。もう一つ、箸から箸へ食べ物を受け渡す「渡し箸」という方法も厳しく禁じられている。火葬後の骨揚げのときには、二人一組になって骨を箸でつまみ、骨盤に移すからである。

# 달마 다루마

**日常のしきたり**

## ダルマ

禪宗の祖・達磨大師が  
必勝祈願の縁起物に

転がしてもくろりと起き上がるダルマは、「七転び八起き」のたとえもあり、縁起がいいとされる。願掛けに用いられることも多い。願いごとがあるときは片方の目を黒く塗り、その願いがかなったら、残りの片方を黒く塗る。

ダルマとは梵語の Dharma のこととで、「法」を意味するが、我々が親しんでいるダルマは、菩提達磨（達磨大師）という禪宗の祖をモデルにしている。

達磨大師は、南インド香至国の第三王子として生まれ、出家して中国に渡ったと伝えられる。嵩山の少林寺で、九年間壁に面して坐禅をし、ついに禅の奥義を悟った。ダルマに手足がないのは、坐禅を組んでいる様子を模したからとも、


あまりに長い間坐禅の修行をしていたため、手足が腐って落ちたからともいわれている。

鎌倉時代に日本に禪宗が伝えられると、その姿が雪舟をはじめ多くの禅僧や文人によって描かれた。また、転がしても元に戻る起き上がり小法師は室町時代に生まれた玩具だが、当初は達磨ではなく、中国の白髪の老人の姿をしていた。これがやがてかわい童子の姿に変わり、江戸時代にダルマとなった。いまでは多くの人に「ダルマさん」として親しまれている。


ちなみに、ダルマさんが赤く塗られているのは、達磨大師の衣の色に由来する。

禪宗で赤い衣を着ることができるのは大僧正だけであり、達磨大師の尊い姿をあらわしているのである。

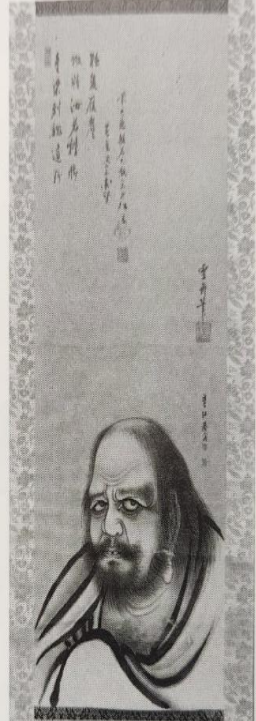
庶民に広まった達磨



選挙のときによく見られる片目ダルマ。赤く塗られているのは、達磨大師が着ていた衣の色に由来する



起き上がり小法師。達磨大師の坐禅姿を模してつくられている

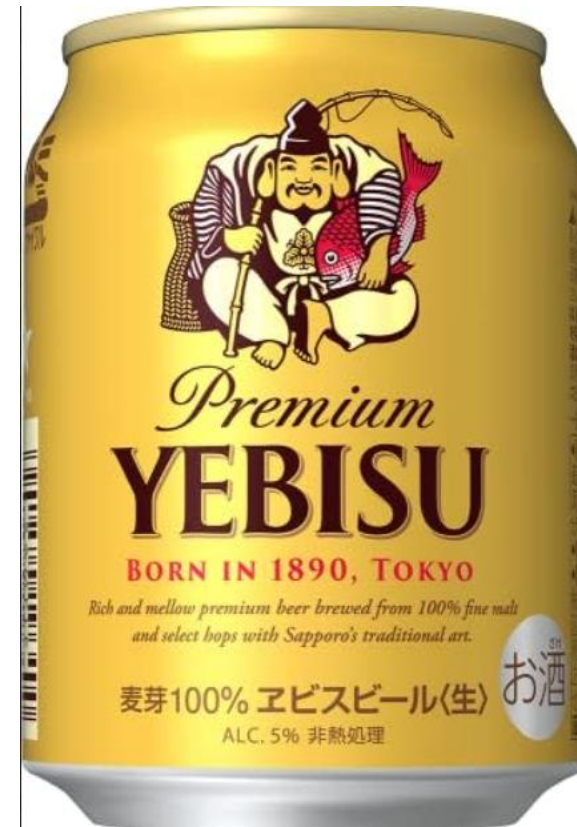
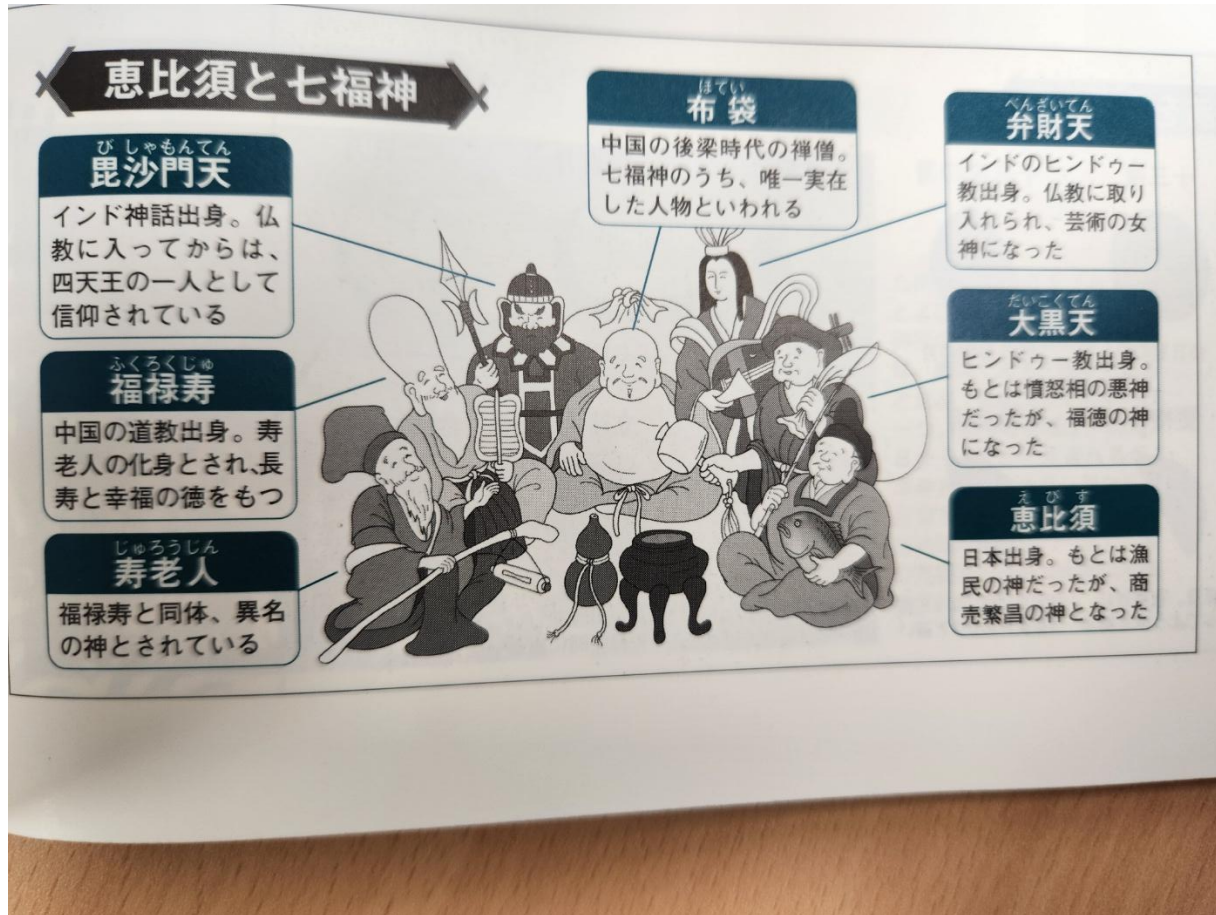


なぜダルマは真っ赤で手足がついていないのか？

禪宗の祖・達磨大師。インド出身で、正式には菩提達磨という。中国の少林寺において9年もの間坐禅修行し、悟りを開いたと伝えられる（『春屋宗圓賛達磨図』雪舟作）

29

# 칠복신 에비스 기기(記紀)신화 히루코 古事記/日本書紀 이자나기/이자나미



# 가문(家紋)

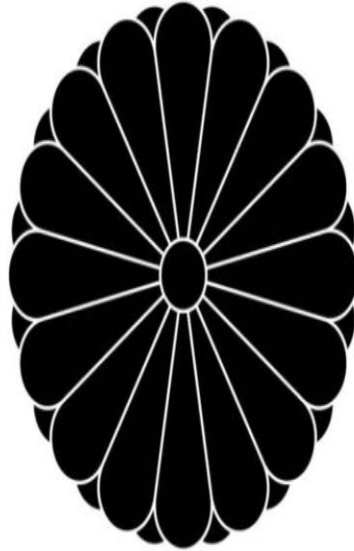
菊紋 \* 菊水紋

葵紋 桐紋



楠木正成の家紋「菊水の紋」

菊の花が川の流れにゆっくりと身を任せているような美しい家紋。  
菊水の紋は菊の花が水に流れているところを現しています。  
菊水の紋は、楠木正成の忠義の証を現したとも言われています。



天皇家の紋「菊の紋」

花びらが16枚あることから「十六八重表菊」とも呼ばれている。  
「八重菊」を家紋にしたもので、現在は天皇と東宮しか使用できない。



# 가문(家紋)

菊紋 \* 菊水紋

葵紋 \* 御三家

桐紋



# 桐紋



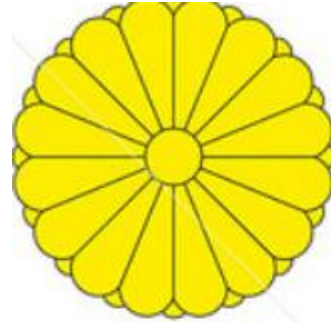
五  
七  
桐

豊臣秀吉



五三の桐

# 일본 국장



IMPERIAL SEAL  
日本の国章



PRIVY SEAL  
御璽



GREAT SEAL  
国璽

## GOVERNMENT SEALS



PRIME MINISTER  
内閣総理大臣



五三桐



5-3 PAULOWNIA  
五三鬼桐



丸に五三桐



5-7 PAULOWNIA  
五七桐



太閤桐



OTHER  
桐揚羽蝶



土佐桐

# 일본국기

# 황실문장



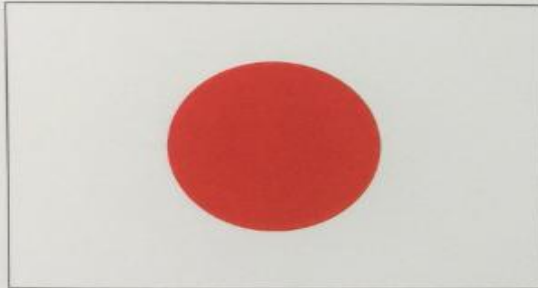
日本国

Japan

面積=37万8000km<sup>2</sup>  
人口=1億2750万人  
首都=東京

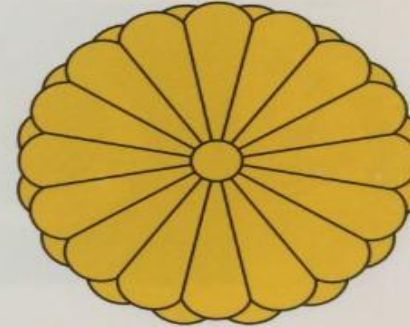
国旗制定日 = 1999年 8月13日

皇室紋章制定日 = 1926年10月21日



比率=2:3

「日章旗」「日の丸」と呼ばれ、白は純粹さや正直さ、赤は情熱や忠誠心の意味を持ち、赤丸は太陽を表す。1854年に日本国の総船印に定められ、70年に比率7:10の商船用旗と2:3の軍艦用旗の2つの規格の日の丸に関する布告が交付された。以来どちらを正式とするかが議論されたが、1999年8月13日に施行された「国旗及び国歌に関する法律」第127号で2:3の日の丸が正式に国旗と制定された。



日本には法律で定められた国章は存在しない。皇室紋章は黄色の16弁表八重菊花で、紋章様式細則は1926年の皇室儀制令で決められた。菊の紋章は皇室では後鳥羽上皇（在位1198~1221年）の頃から使われてきたといわれる。

# 화투(하나후다) 속 일본전통문화 \*닌텐도(任天堂)



# 화투(하나후다) 속 일본문화

\*닌텐도(任天堂)      \*\*섬머워즈



# 화투(하나후다) 속 일본문화

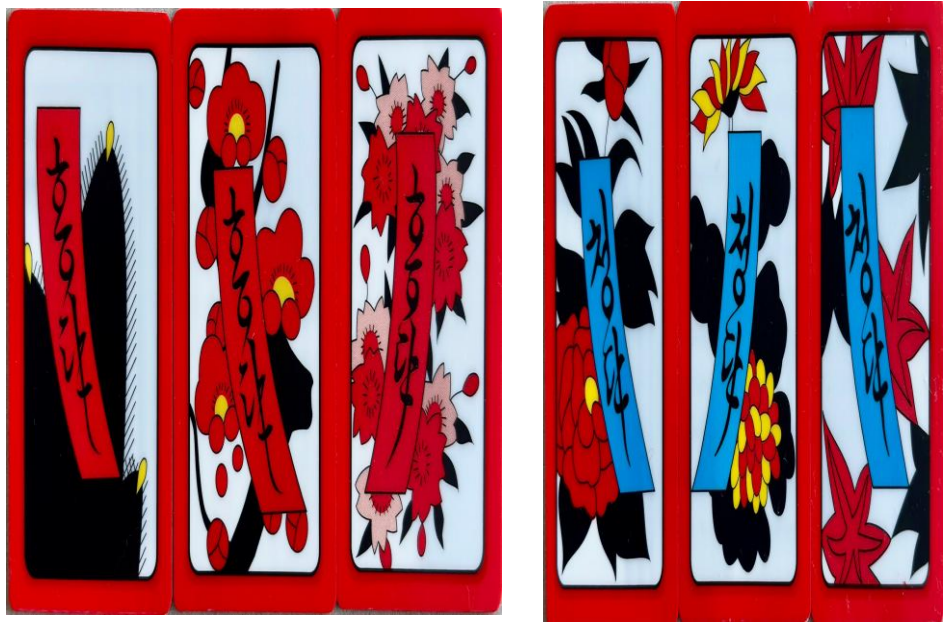
\*닌텐도(任天堂)      \*\*섬머워즈



# 화투(하나후다) 속 일본문화

\*하나미 쓰키미 중앙절 고탄요/모미지가리





카스 糟糠  
카스토리문화



일본화투 1송학 2매조 \*門松(가도마쓰)  
 4후지(藤) 5쇼부(菖蒲) 9菊花/壽 12오동/봉황

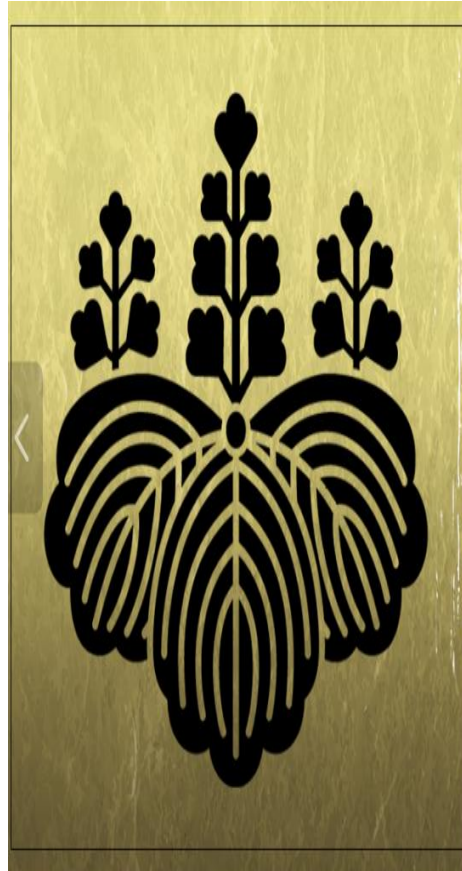


七夕 타나바타] 오늘은 칠석날, 탄자쿠(短冊)  
 에 너의 소원을 ...

# 닌텐도

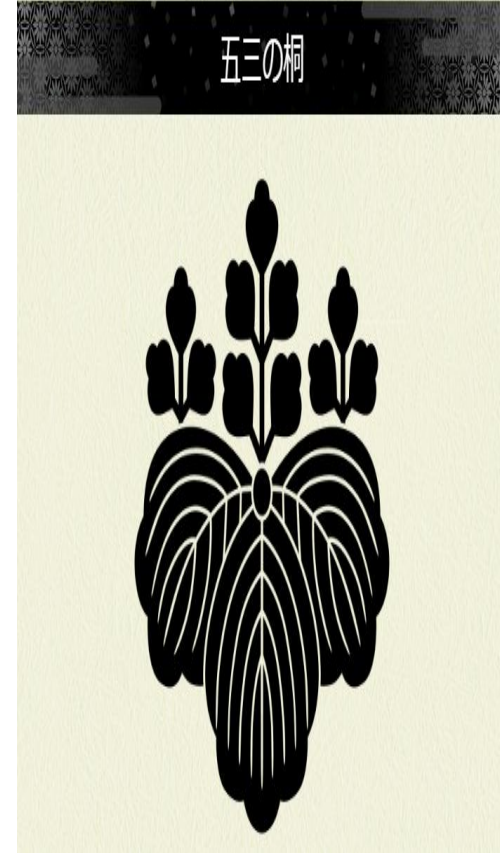


# 桐紋 후시미성 출토 기리몬 기와



五  
七  
桐

豊臣秀吉



# 와카 和歌 575 77 와카 2수 최초의 와카 難波津歌 飛梅

- 王仁 박사(논어 천자문 우지태자의 스승)
- 스가와라노 미치자네(菅原道眞) 학문의 신 다자이후덴만구
- 難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花
- 東風(こち)吹かば にはひをこせよ 梅花(うめのはな)  
主なしとて 春を忘るな
- 東風ふかば にはひをこせよ 梅の花 あるじなしとて 春なわすれそ



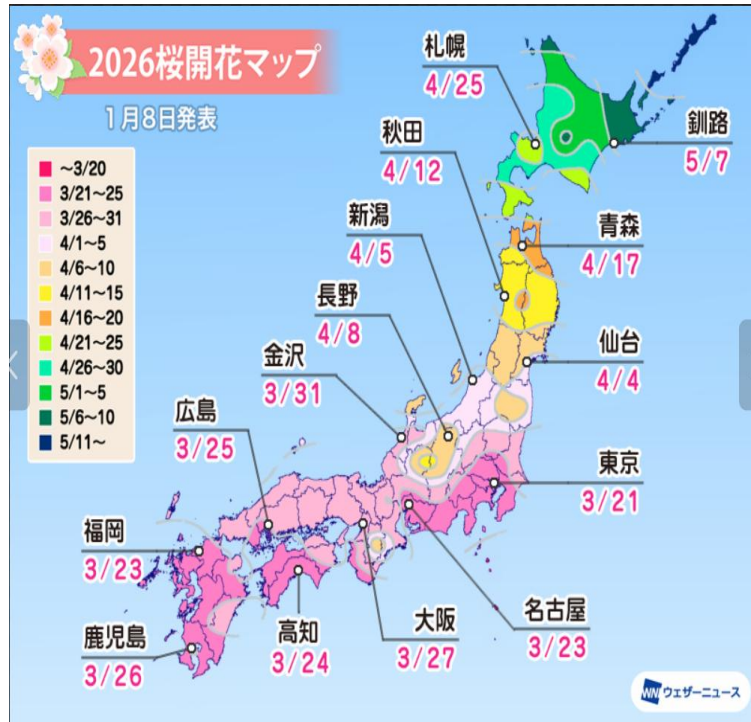
# 난파진가 시비 오사카시 나니와구 고노하나구



# 전통문화 연중행사와 그 유래

## 전반부/후반부 춘하추동 1월~12월

- 3대 전선(前線) 하나미(花見)/사쿠라전선 바이우(梅雨쓰유)전선  
 선 고요(紅葉모미지/모미지가리) 하나비(花火) 유키마쓰리(雪祭)



# 전통문화 연중행사와 그 유래

## 전반부/후반부 춘하추동 1월~12월

- 3대 전선(前線) 하나미(花見) 바이우(梅雨쓰유) **고요**(紅葉**모미**지/모미지가리) 하나비(花火) 유키마쓰리(雪祭)



# 몇 가지 시키타리 및 그 유래

-불교 무사 상인 등 \*pdf파일(시키타리1)

- 오카와리 불교
- 젓가락 佛箸/合箸/刺箸 불교/무사
- 주거 다다미노헤리 \*다다미 헤리(緣) 무사
- 좌측통행 무사
- 의복 미기마에/히다리마에 무사/상인 현실성
- 마네키네코 상인
- 연기물 다루마 불교/선종 달마스님
- 상좌/하좌(가미자/시모자)[\*도코노마(床間)] 등

# 전통문화 시키타리 및 유래(2)

## \*시키타리 자료2      자료3

- 야쿠도시 厄年 大厄 42세(남)    33세(여)
- 가도마쓰(門松)
- 하쓰모우데(初詣)
- 하쓰유메(初夢)    길몽3    1 후지    2 다카(鷹 매)    3 나스/나스비(가지)  
[\*도쿠가와 이에야스 관련 \*\*3대 복수극 부모/ 주군/ 형제]

# 전통문화 연중행사와 그 유래

## 전반부/후반부 춘하추동 1월~12월

- 양수 13579 음수 2468
- 1/1 3/3 5/5 7/7 9/9 11/15
- 2월 4월 6월 8월 10월 12월
- 쇼추미마이 晝中見舞(7월) 오세이보 歲暮(12월)
- 춘하추동
- 1월~12월

# 휴일 및 세계유산과 연중행사

- 휴일 및 세계유산에 나타난 특징-천황의 나라, 자연환경(열도/바다와 산), 무사, 불교/신도 등 키워드 10과의 관련성
- 주요한 연중행사
- 춘하추동  
[하나미(3월) 하나비 고요(모미지가리 10월) 유키마쓰리]
- 1월 오쇼가쓰 2월 세쓰분 3월 히나마쓰리 5월 고이노보리  
6월 치노와 7월 다나바타 8월 오봉 9월 중앙절  
11월 시치고산 12월 도시코시소바
- 기타 4/8 하나마쓰리 11/15 치에노와

# 키워드 8(10)가지

일본사 이해의 전제

환경-열도 산 지형 기후 자연재해

역사-천황 무가 상인 외척(모계) 불교 (도래인)

# 자연환경-열도(섬) 산(산지)

- 바다의 나라, 산의 나라
- 고지도-5기7도(전근대 행정구역)
- 동해도 서해도 남해도 (북해도) \*8도(근대)
- 동산도 산음도 산양도
- 섬나라 동아시아 세계 속 상대적 고립
- 고립성 후진성 독자성
- 동고서저
- 수렵과 농경
- 농경 문명 정치체의 탄생

# 자연환경-지형 및 기후

- 남북으로 긴 지형 지역문화의 다양성
- **고온다습**한 기후(**여름형**) \*겨울-다설(多雪)
- 의식주 등 생활문화 규정
- 의복
- 식생활
- 주거문화 목조 다다미 합장(合掌)식 지붕
- 목욕문화 센토(錢湯)

# 자연환경-자연재해 신의 나라 마쓰리 마쓰리(祭) 고토(事) 제사=정치

- 재해 왕국
- 지진 화산 태풍 쓰나미
- (전염병 기근 등)
  
- 종교 신도(원시종교의 성격)
- 보편종교와의 차이점[교리경전/다신(만물신)/현세구복적/수용]
- 집단성
- 현실성
- 수용복합성 **습합**(習合) 신불(神佛)습합[\***神宮寺**] 신유(神儒)습합

역사-천황 무사 상인 외척 불교 도래인

# 천황

- 천황의 나라
  - 고대천황제 근대천황제
  - 만세일계 천손사상 \*역성혁명
  - 권위와 권력 조정(朝廷)과 막부(幕府)
  - 국호 야마토(일본) 공간 나라현 남쪽지역의 옛 이름
  - 연호 연호의 나라 시간의 지배 레이와(令和)
  - 휴일 11/3(明治) 4/29(昭和) 12/23(平成)→2/23(令和)
  - 세계유산목록
- \*\*시키타리 마쓰리(祈年祭 新嘗祭/大嘗祭) 스모 신전(神前)결혼

# 무사 사무라이 侍

- 무사의 나라
- 3대막부 가마쿠라 무로마치 에도
- 중세~근세 약 700년 간 사무라이(侍)가 통치
- 쇼군(장군) 바쿠후(막부) 다이묘(대명) 한(번 藩)
- 고케닌(御家人) 비(非)고케닌 슈고(守護) 지토(地頭)
- 무사도
- 책임문화 복수문화 할복(자살)문화
- 일본전통문화와 예능의 유래

# 상인

- 상인의 나라
- 직인(공인)
- 가업
- 상업의 발달  
백만도시 에도(현 도쿄)
- 18세기 초 2500만석 농업생산량
- 초닌(町人)문화    우키요에    마네키네코

# 외척 종교(불교+신도) \*선종 도래인

- 외척
- 소가(蘇我)씨 후지와라(藤原)씨 호쥬(北條)씨 히노(日野)씨
- 모계중심의 사회 \*부계
- 여성천황 여제(女帝) 10대 8명 고대~근세 \*신라 3대
- 혼인제도와 양육 처방혼 외가 \*시집 장가
- 섭관(攝政關白)정치 섭정과 관백 \*원정(院政)
- 불교
- 호족(씨족)불교 국가불교 민중불교(불교의 대중화)
- 오카와리 첫가락문화 다루마(달마) 마쓰리(祭) 스모 등
- 도래인

# 일본의 휴일과 세계유산

## - 키워드 10과의 관련성

# 키워드 10-일본 역사문화의 규정 요인

- 자연환경
  - -바다 산 지형(동고서저) 기후(고온다습)
  - 자연재해(지진/화산/태풍/쓰나미)
- 역사
  - -천황 무사(侍) 상인(町人)
- 사회문화-불교 외척

# 일본 역사문화사회 이해의 전제

## - 키워드 10가지

- 환경적 요인(자연지리적 조건)
  - 열도(바다), 산, 지형, 기후, 재해(지진/화산/태풍/쓰나미)
    - \* 불의고리(환태평양 조산대/화산대/지진대)
- 역사적 요인(각 시대의 주인공)-천황, 무사, 상인
- 사회문화적 요인-불교, 외척
- <연중행사/전통문화>
- 시키타리-유래와 내용[불교, 무사, 상인, 천황]
- 휴일에 나타난 특징[천황 바다 산 자연 무사/상인 노인]
- 세계문화유산에 나타난 특징  
[천황/고분 무사/성(城) 불교 신도 역사 산(후지산 산악신앙) 자연]

일본의 휴일  
법정 공휴일 16일

# 일본의 휴일

令和3年（2021年）の国民の祝日・休日

名称	日付	名称	日付
元日	1.1	こどもの日	5.5
成人の日	1.11	海の日	7.22
建国記念の日	2.11	スポーツの日	7.23
天皇誕生日	2.23	山の日	8.8
春分の日	3.20	休日	8.9
昭和の日	4.29	敬老の日	9.20
憲法記念日	5.3	秋分の日	9.23
みどりの日	5.4	文化の日	11.3
		勤労感謝の日	11.23

# 일본의 휴일

令和4年(2022年)の国民の祝日・休日

名称	日付	名称	日付
元日	1.1	こどもの日	5.5
成人の日	1.10	海の日	7.18
建国記念の日	2.11	山の日	8.11
天皇誕生日 (레이와)	2.23	敬老の日	9.19
春分の日	3.21	秋分の日	9.23
昭和の日 (쇼와)	4.29	スポーツの日	10.10
憲法記念日	5.3	文化の日 (메이지)	11.3
みどりの日 (헤이세이)	5.4	勤労感謝の日	11.23

# 일본 문화 행사

## カルチャー&マナー

### 07\_1 공휴일

공휴일은 국민의 축일(國民の祝日)이라고 말한다. 공휴일과 일요일이 겹치면 그 다음 월요일이 휴일이 되어 이를 후리카에 쿠키츠(振替休日) 또는 해피 먼데이라고 한다. 해피 먼데이 법(ハッピーマンデー法)은 일본정부가 국민의 노동시간을 줄이고 연휴를 늘리기 위해 제정한 것이다.

- ① 1월 1일: 설날 (お正月) 元日・元旦
- ② 1월 둘째 월요일: 성인의 날 (成人の日) 만 20세 남녀 축하 (1.15)
- ③ 2월 11일: 건국기념일 (建國記念日) 신화에 나오는 초대 神武천황이 즉위한 날
- ④ 3월 21일(경): 춘분의 날 (春分の日)
- ⑤ 4월 29일: 소와의 날 (昭和の日) 1989년에 서거한 소와 천황의 생일 ← 2024년 9월
- ⑥ 5월 3일: 헌법기념일 (憲法記念日) \* 1946.11.3 생일
- ⑦ 5월 4일: 초록의 날 (緑の日) 2007년 변경됨 1949.5.3 생일 (이산기념일)
- ⑧ 5월 5일: 어린이 날 (子供の日)
- ⑨ 7월 셋째 월요일: 바다의 날 (海の日) 7월 20일이었으나 2003년에 변경됨
- ⑩ 9월 셋째 월요일: 경로의 날 (敬老の日) (9.15)
- ⑪ 9월 23일(경): 추분의 날 (秋分の日)
- ⑫ 10월 둘째 월요일: 체육의 날 (体育の日) (10.10) ← 2000년 10월 10일 생일
- ⑬ 11월 3일: 문화의 날 (文化の日) 1912년에 서거한 메이지 천황의 생일
- ⑭ 11월 23일: 근로감사의 날 (勤労感謝の日) 新年祭・新嘗祭
- ⑮ 12월 23일: 천황탄생일 (天皇誕生日) 현재 平成천황의 생일 → 2023년 12월 23일 생일
- ⑯ 8월 11일 山の日 \* 2016년 8월 11일 생일

B.C 660년 15대가 천황(천황의 생일)  
 \* 1889.2.11 국헌  
 (대일본제국헌법)  
 \* 1946.11.3 생일  
 1949.5.3 생일 (이산기념일)  
 \* 1949.5.3 생일 (이산기념일)  
 \* 1949.5.3 생일 (이산기념일)  
 \* 1949.5.3 생일 (이산기념일)

### 07\_2 연중행사

 1월 1일 正月 元旦・元日	 2월 3일/4일 春分 春分の日	 3월 3일 ひなまつり 雛祭り	 3월~5월 花見	 5월 5일 子供の日
 6월 10일경~7월 10일경 月見 前線	 7월 7일 七夕	 8월 15일 おぼん 花火	 8월 15일 밤 月見	 12월 25일 クリスマス

# 휴일에 나타난 특징

- 천황-천황 생일 천황의 나라
- 자연-바다의 나라, 산의 나라
- -춘분, 추분
- 무사/상인-대체휴일
- 해피먼데이(월요일 휴일)
- 노인의 나라
- 기타

# 헌법기념일 5/3

## 일본국헌법의 특징

- 일본국헌법 1946년 11월3일 공포, 1947년 5월3일 시행
- 신헌법=평화헌법
- 제1장 천황 제1조~제8조 상징천황제[주권재민, 정치권력 행사 불가, 일본국 및 일본국민 통합의 상징]
- 제2장 전쟁 포기 제9조 전쟁포기(무력사용 불가 군대보유 불가 교전권 불인정)=평화헌법
  
- 대일본제국헌법 메이지22년 제정(1889.2.11)=구헌법=메이지헌법
- 현인신 顯人神/現人神 대일본제국은 만세일계의 천황이 통치한다. 천황은 신성불가침한 존재. 만기총람

# 건국기념일(2/11) 근로감사의 날(11/23)

- 건국기념일 유래
- 기원전 660년 1월 1일(음력) 진무(神武)천황 즉위
- 메이지6년(1873) 음력에서 양력으로 변경 음1/1→양2/11
- 갑자(甲子)혁명설 신유(辛酉)혁명설=참위설(讖緯 중국 도참사상) 60년=1元, 21元=1260년 주기.
- 601년 신유(辛酉)년 스이코(推古)천황 쇼토쿠(聖德)태자 시기
- 602년 백제에서 관록 스님 파견-역법(曆法) 전수[천문지리서 및 둔갑방술서와 함께]
- 일본의 건국기원은 7세기 초 이후의 지배층의 사고의 산물

# 근로감사의 날(11/23)

- 농경사회로 전환-야요이시대 이후
- 밭농사가 아닌 논농사(벼농사) 시작 \*한국/중국과의 차이
- 농경사회에서는 신에 대한 제사가 중요-풍작과 흉작을 결정
- 마쓰리의 유래 마쓰리=제사 마쓰리고토=정치
- 봄의 제사-기년제(祈年祭) 도시고이노마쓰리 풍년기원 제사
- 가을의 제사-신상제(新嘗祭) 니이나메노마쓰리 추수감사제=세금의 기원
- 천황즉위식=대상제(大嘗祭) 다이조사이
- 신사-봄 대제, 가을 대제

# 일본의 세계문화유산 총 26곳(2026현재) 문화유산(21) 자연유산(5)

- 세계유산 종류
- 문화유산
- 자연유산
- 복합유산
- 기록유산
- 무형유산

# 일본 세계유산(문화19/자연4) 2019현재



# 일본의 세계유산(문화19/자연4), 2019년 현재→2026년 현재(문화21/자연5)

- (1)호류지 지역의 불교기념물(나라현 1993),
- (2)히메지성(효고현 히메지시 1993),
- (3)야쿠시마(屋久島 가고시마현, 조몬시대 삼나무 1993),
- (4)시라카미(白神)산지(아오모리 서남부-아키타 북서부 1993),
- (5)고도 교토의 문화재(교토시 우지시 오쓰시 1994),
- (6)시라카와고(白川郷)와 고카야마(五箇山)의 합장(合掌)식 부락(기후현 다카야마(高山)시, 도야마현 1995),
- (7)원폭돔(히로시마 1996),
- (8)이쓰쿠시마(巖島)신사(히로시마 1996),

# 일본의 세계유산(문화19/자연4)

- (9)고도 나라의 문화재(나라현 1998),
- (10)닛코의 사당과 사원(도치기현 1999),
- (11)류큐왕국의 구스쿠 및 관련유산군(오키나와현 2000),
- (12)기이(紀伊) 산지의 세 곳의 영지와 그를 잇는 참배도(와카야마현, 나라현, 미에현 2004),
- (13)시레토코(홋카이도 2005),
- (14)이와미은산(시마네현, 2007),
- (15)오가사와라제도(도쿄도 오가사와라, 2011),
- (16)히라이즈미(平泉)-정토정원과 건축(이와테현, 2011),
- (17)후지산-신앙의 대상과 예술의 원천(시즈오카현, 야마나시현, 2013)

# 일본의 세계유산(문화19/자연4)

- (18)富岡製絲場과 絹산업유산군(군마현, 2014)
- (19)메이지일본의 산업혁명유산 제철·제강, 조선, 석탄산업(야마구치, 가고시마, 시즈오카, 이와테, 사가, 나가사키, 후쿠오카, 구마모토현 2015)[\*군함도(하시마)/쇼카손주쿠(松下村塾) 포함]
- (20)국립서양미술관(르 코르뷔제 작품, 도쿄도, 2016)
- (21)무나카타(宗像)·오키노시마 제사유적(후쿠오카, 2017)
- (22)나가사키(시마바라)·아마쿠사(天草) 잠복기리시탄 유산(나가사키 구마모토, 2018)
- (23)모즈·후루이치고분군(천황릉고분, 오사카부 사카이시, 2019) \*전방후원분-다이센고분 등

# 추가 일본의 세계유산(문화21/자연5) 2024년 8월 현재 26곳

- (18)富岡製絲場과 絹산업유산군(군마현, 2014)
- (19)메이지일본의 산업혁명유산 제철·제강, 조선, 석탄산업(야마구치, 가고시마, 시즈오카, 이와테, 사가, 나가사키, 후쿠오카, 구마모토현 2015)[\*군함도(하시마)/쇼카손주쿠(松下村塾) 포함]
- (20)국립서양미술관(르 코르뷔제 작품, 도쿄도, 2016)
- (21)무나카타(宗像)·오키노시마(沖島) 제사유적(후쿠오카, 2017)
- (22)나가사키(시마바라)·아마쿠사(天草) 잠복기리시탄 유산(나가사키 구마모토, 2018)
- (23)모즈·후루이치고분군(천황릉고분, 오사카부 사카이시, 2019) \*전방후원분-다이센고분 등
- (24)이리오모테지마(西表島)[奄美大島、徳之島、沖繩島北部及び西表島](오키나와, 2021, 자연유산)
- (25)조몬(縄文)유적군(홋카이도, 도호쿠지방, 2021)
- (26)사도광산(佐渡金山 니이가타, 2024)

# 日本の世界遺産マップ (2024年7月現在)

●自然遺産 ●文化遺産



古都奈良の文化財 (唐招提寺)



日本の世界遺産 (2024年7月31日現在)

# 日本の世界遺産一覧

No.	資産名	所在地	記載年	区分
1	<a href="#">法隆寺地域の仏教建造物</a>	奈良県	平成5年	文化
2	<a href="#">姫路城</a>	兵庫県	平成5年	文化
3	屋久島	鹿児島県	平成5年	自然
4	白神山地	青森県・秋田県	平成5年	自然
5	<a href="#">古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）</a>	京都府・滋賀県	平成6年	文化
6	<a href="#">白川郷・五箇山の合掌造り集落</a>	岐阜県・富山県	平成7年	文化
7	<a href="#">原爆ドーム</a>	広島県	平成8年	文化
8	<a href="#">厳島神社</a>	広島県	平成8年	文化
9	<a href="#">古都奈良の文化財</a>	奈良県	平成10年	文化
10	<a href="#">日光の社寺</a>	栃木県	平成11年	文化
11	<a href="#">琉球王国のグスク及び関連遺産群</a>	沖縄県	平成12年	文化
12	<a href="#">紀伊山地の霊場と参詣道</a>	三重県・奈良県・和歌山県	平成16年	文化

13	知床	北海道	平成17年	自然
14	<a href="#">石見銀山遺跡とその文化的景観</a>	島根県	平成19年	文化
15	小笠原諸島	東京都	平成23年	自然
16	<a href="#">平泉-仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群</a>	岩手県	平成23年	文化
17	<a href="#">富士山-信仰の対象と芸術の源泉</a>	山梨県・静岡県	平成25年	文化
18	<a href="#">富岡製糸場と絹産業遺産群</a>	群馬県	平成26年	文化
19	<a href="#">明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業</a>	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県・岩手県・静岡県	平成27年	文化
20	<a href="#">ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献-</a>	東京都 ※フランス・ドイツ・スイス・アメリカ・アイルランド	平成28年	文化
21	<a href="#">「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群</a>	福岡県	平成29年	文化
22	<a href="#">長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産</a>	長崎県・熊本県	平成30年	文化
23	<a href="#">百舌鳥・古市古墳群-古代日本の墳墓群-</a>	大阪府	令和元年	文化
24	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県・沖縄県	令和3年	自然
25	<a href="#">北海道・北東北の縄文遺跡群</a>	北海道・青森県・岩手県・秋田県	令和3年	文化
26	<a href="#">佐渡島の金山</a>	新潟県	令和6年	文化

# 세계문화유산에 나타난 특징

- 천황-전방후원분
- 무사-성(城) 히메지(姫路)성=백로(白鷺)성
- 종교-불교 신도 사사(寺社/社寺) 절과 신사
- 제사유적
- 역사-도쿠가와 이에야스
- 산의 나라-후지산
- 자연 기후/다설 산의 나라-나무의 나라, 금은동의 나라

# 전방후원분 다이센(인덕천황릉)고분



# 세계 최대 규모의 고분 486미터 오사카후 사카이시 2019



# 이쓰쿠시마 신사 해상 도리이(鳥居) 히로시마 1996



# 후지산-신앙의 대상과 예술의 원천 아사마신사 아카후지-가쓰시카 호쿠사이







# 우키요에 가쓰시카 호쿠사이 작품



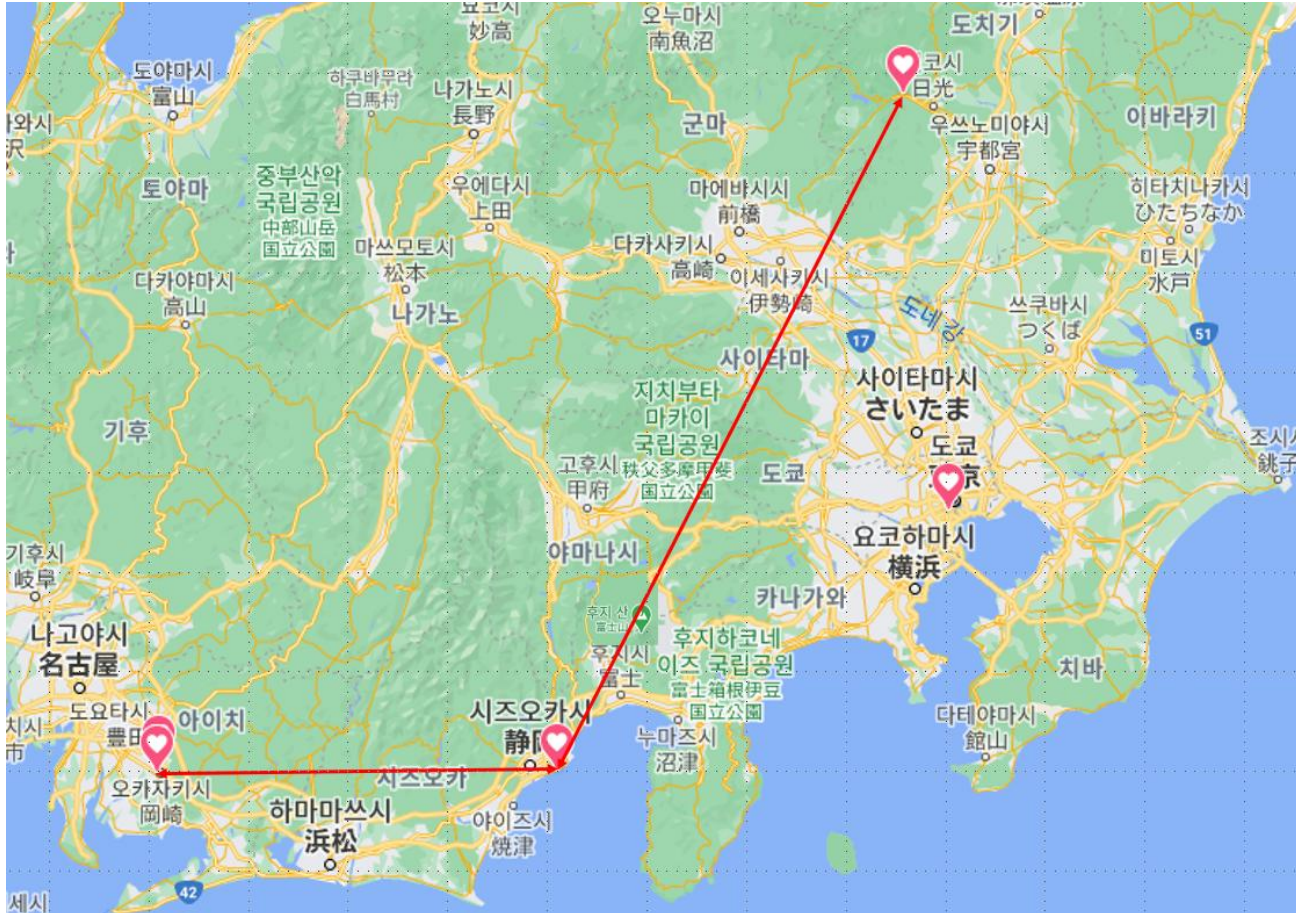
# 닛코 도쇼구 도쿠가와 이에야스 사당 가을 모미지가리 고요(紅葉)의 명소



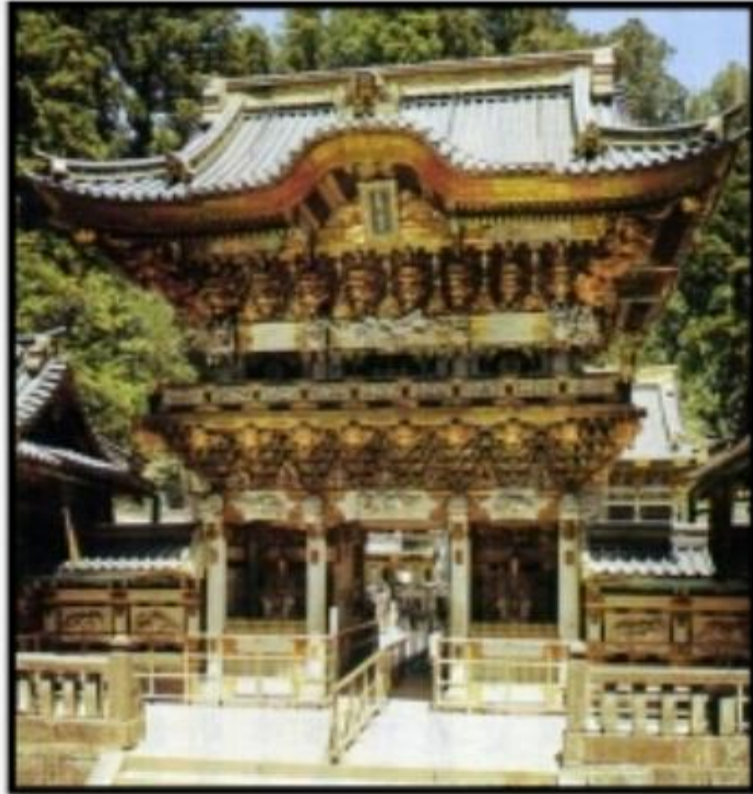
# 닛코(日光) 도쇼구(東照宮) 도치기현 닛코시



# 도쿠가와 이에야스 관련 지역 아이치 시즈오카 닛코(도치기현)



# 이에야스를 모신 사당 도쇼구 東照宮 東照大權現



■ 닛코 도쇼구 양명문(日光東照宮陽明文)



# 도쇼구 요메이문(陽明門)



# 좌우대신상과 고마이누(아흠상)



산자루    사루(猿)    ~자루  
聞 言 見    기카자루    이와자루    미자루



# 네무리네코



# 주젠지코(中禪寺湖)와 게곤노다키(華嚴瀧)



# 닛코 도쇼구 도쿠가와 이에야스 사당 가을 모미지가리 고요(紅葉)의 명소



기후 고온다습/다설 태평양/동해(일본해)  
가쇼즈쿠리 합장 기후현/토야마현



# 전통문화 연중행사와 그 유래(2)

# 일본역사문화사회 이해의 전제

## -키워드 10가지

- 환경적 요인(자연지리적 조건)-열도(바다), 산, 지형, 기후, 재해
- 역사적 요인(각 시대의 주인공)-천황, 무사, 상인
- 사회문화적 요인-불교, 외척
  
- 연중행사/전통문화
- 시키타리
- 휴일

# 연중행사 \*연중행사 파일

- 주요한 연중행사
- 춘하추동  
[하나미(3월) 하나비 고요(모미지가리 10월) 유키마쓰리]
- 1월 오쇼가쓰 2월 세쓰분 3월 히나마쓰리 5월 고이노보리  
6월 치노와 7월 다나바타 8월 오봉 9월 중앙절  
11월 시치고산 12월 도시코시소바
- 기타 4/8 히나마쓰리 11/15 치에노와